

# 質 問 通 告 書

令和6年3月6日時点

日 程	質 問 順 番	氏 名	指 名 答 弁 者	質 問 事 項
3 月 11 日  月 曜 日	1	塚本博幸 (一問一答) (完全)	市 長 教 育 長 関 係 部 長	1. 有害鳥獣対策について (1) 令和5年度の活動総括 (2) 鳥獣侵入防止の再編整備と対策効果の確認方法 (3) 猟友会への支援拡充 (4) 中山間地域を守り抜く 2. 道の駅伊万里の再生について (1) 再生に至るいきさつとコンセプト (2) 魅力づくりへの仕掛け (3) 整備の今後のスケジュール (4) 観光振興に向けた今後の取組 3. コミュニティ・スクールについて (1) 導入の目的 (2) 活動状況と成果 (3) 課題と今後の進め方 (4) 学校内の環境整備
	2	盛泰子 (一問一答) (完全)	市 長 教 育 長 関 係 部 長	1. 買い物支援について (1) 移動販売事業者支援事業 (2) 新規参入へ向けて 2. 学校図書館について (1) 文部科学省が定める「図書標準」に対する状況 (2) 図書購入費予算 (3) 学校司書の配置 3. 災害時協力井戸について (1) 市内に存在する井戸の把握 (2) 災害時協力井戸の設定 (3) 公共施設への設置
	3	西田晃一郎 (一問一答) (完全)	市 長 関 係 部 長	1. こども家庭センターについて (1) 相談窓口 (2) 支援体制 (3) 今後の取組 2. 子ども第三の居場所について (1) 開設までのスケジュール (2) 事業展開 (3) 今後の取組
	4	児玉不二子 (一問一答) (完全)	市 長 関 係 部 長	1. 安心して健やかな暮らしづくりについて (1) 高齢者支援サービス (2) 障がい者(児)支援サービス (3) 子どもの発育と健康

# 質 問 通 告 書

令和6年3月6日時点

日 程	質 問 順 番	氏 名	指 名 答 弁 者	質 問 事 項
3 月 12 日  火 曜 日	5	力 武 勝 範 (一問一答) ( 完 全 )	市 長 関 係 部 長	1. 地元中小企業・事業所等の人手不足対策について (1) 現在の取組内容 (2) 企業誘致と雇用対策 (3) 外国人労働者への期待 (4) 今後の対策 2. 自治体(市内)DXについて (1) 伊万里市デジタルトランスフォーメーション推進計画 (2) 今後の取組計画
	6	山 口 常 人 (一問一答) ( 完 全 )	市 長 教 育 長 関 係 部 長	1. 滝野小・中学校の跡地利活用について (1) 地元区長等の要望状況 (2) 市としての対応策 (3) 市長の思い 2. 東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の進捗状況について (1) 建設工程表との現況確認 (2) 内装木質化 (3) 令和6年度の新入学児童数と推移 (4) 市長の思い
	7	前 田 邦 幸 (一問一答) ( 完 全 )	市 長 関 係 部 長	1. 伊万里市公共建築物個別施設計画について (1) 伊万里市公共建築物個別施設計画の現状 (2) 市民会館跡地周辺施設の建て替え時期 (3) 滝野・松浦・大川小学校舎の利活用 (4) 国見台公園の施設計画 (5) 市役所庁舎の建て替え時期 2. 子ども・子育て支援施策について (1) 市における子ども・子育て支援 (2) 切れ目ない子どもの発達支援 (3) ふるさと応援寄附金の活用 (4) 給食費の無償化 (5) 市長の考え

# 質 問 通 告 書

令和6年3月6日時点

日 程	質 問 順 番	氏 名	指 名 答 弁 者	質 問 事 項
3 月 13 日  水 曜 日	8	前田久年 (一問一答) (完全)	市 長 関 係 部 長	1. 伊万里市の財政運営について (1) 現在の財政状況と新年度予算編成 (2) 収納率 (3) 義務的経費の推移 (4) 扶助費 (5) 公債費 (6) 実質公債費比率 (7) 経常収支比率 (8) 基金残高 (9) 財政健全化に対する考え方
	9	金原晋作 (一問一答) (完全)	関 係 部 長	1. 空き家対策における家族信託の活用について (1) 市内の空き家の状況 (2) 市内の認知症の方の人数 (3) 家族信託の活用 2. 有害鳥獣駆除について (1) 市内でのカラスによる農作物の被害状況 (2) ふるさと納税返礼品の割合 (3) 報償金の妥当性 (4) 近年多発しているサル出没への対策 3. 国見台公園総合整備について (1) 現状と今後の整備の方向性
	10	川添智徳 (一問一答) (完全)	市 長 関 係 部 長	1. 学校について (1) 小・中学校、義務教育学校トイレの改修計画 (2) 小・中学校の統廃合 2. 市民霊園構想について (1) 待機納骨と無縁墓の実態 (2) 墓じまい補助金制度 (3) 合葬墓と市民霊園の必要性